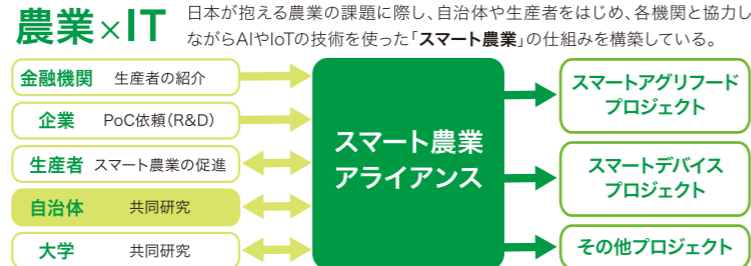
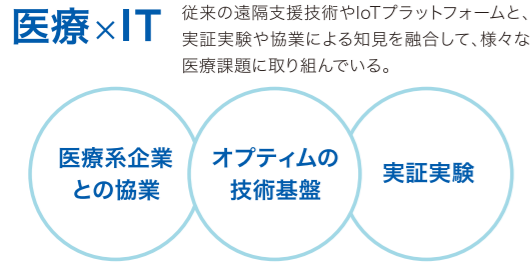


OPTiMが進める主な取り組み



晴らしいところですが。加えて、神戸市には、オフィス賃料と人材雇用に関する補助制度として「オフィス等賃貸型企業拠点移転補助」があります。私達はそこをきっかけで農業・医療や他の事業で様々な展開ができるので、非常に有難い制度です。神戸での採用を強化し、拠点を大きくしたいので、一緒にプロジェクトを進めたい方、興味がある方はぜひ当社ホームページにアクセスしていただきたいです。

—— 御社における神戸オフィスの役割はどのようにお考えですか。

野々村：医療・農業などの重要な産業化の拠点となります。農業においては、神戸からアクセスの良い丹波篠山市の皆様と協力してドローン・AIを使った黒豆大豆の生産にも取り組んでいます。全国的に、「ドローンやAIを使った「スマート農業」と呼ばれるものは既にありますが、

生産者から出来上がった農作物を買い取って販売するところまでを手掛けているケースは他にあまりないでしょう。農業も人不足が叫ばれ、IT活用による産業の活性化が重要になっています。ドローンが田畑の上を飛行して撮影を行い、その画像を解析して害虫がいるところのみにピンポイントで農薬を撒くことで、農作業の工数削減にも繋がっています。丹波篠山の皆様が前向きに取り組んでくださるおかげで、農薬散布量の大幅な削減(90%程)に成功しており、減農薬で商品価値が上がるので、通常の黒豆よりも高い値段で販売することができています。

—— 今後、神戸で実現したい取り組みや展望をお聞かせください。

野々村：神戸を拠点としてできたビジネスを日本全国に展開したいと考えています。高齢化による人不足は先進国が抱える共通課題であり、そ

OPTiM®

「ネットを空気に変える」をコンセプトに、IoTをより身近に感じるプラットフォームのプロダクト開発に尽力。佐賀本店、東京本社を含む国内6カ所、海外1カ所に拠点を構え、昨年開設した神戸オフィスは医療・農業を含む「〇〇xIT」の産業化の拠点として重要な役割を果たしている。

OPTiM KOBE
兵庫県神戸市中央区小野柄通7-1-1 日本生命三宮駅前ビル11F
<https://www.optim.co.jp/>

れを解決させるための仕組みを産業化してグローバルに展開していきたいと思っています。

—— 最後に、神戸での企業設立を検討する方に向けてメッセージをお願いします。

野々村：神戸は、ビジネスにおいて新しいテクノロジーを受け入れる寛容性が高いと思います。それは港町であり、多くの異文化が行き交うことにも由来しているでしょう。医療・製造業と地元産業も日本を代表する企業が多く、たくさん応援もいただいています。人もアグレッシブで魅力的な方が多いですし、市内から空港へのアクセスも非常に便利。神戸空港から全国に、そして将来はアジアの玄関に最適で、新しいことを始めるにはうってつけの場所です。ぜひ神戸と一緒にイノベーションを起こしましょう。

神戸進出・4つの魅力

魅力1 最先端の戦略産業が集積

IT・コンテンツ産業に代表される都市型創造産業、医療・健康・福祉産業、航空・宇宙産業、環境・エネルギー産業といった、これからの日本を牽引する新たな産業の基盤が、ここ神戸で築かれています。

魅力2 優れたビジネス環境

陸路、海路、空路が充実し、国内主要都市へのアクセスが良好。臨海部・内陸部とオフィスエリアで、多様なニーズに合わせた事業展開を可能にする、優れた環境が整っています。

魅力3 多様な支援制度の整備

税優遇、補助金をはじめ、制度融資、特区制度など、神戸での新規事業展開や拡充を支援する各種制度が充実しています。特に、神戸にオフィスを新規開設されると、賃料と雇用に対する補助制度があります。

魅力4 豊かな生活スタイル

大都市でありながら、美しい瀬戸内海、雄大な六甲山系が広がります。都会の便利さと自然の豊かさを兼ね備えた理想的なコンパクトシティで、自分スタイルの暮らしが叶います。

お問い合わせ
神戸市企業立地課
神戸市中央区加納町6-5-1
神戸市役所1号館23階
TEL 078-322-5329
corp_re@office.city.kobe.lg.jp
<http://kobe-investment.jp/>



※飛行機を降りてからアクセスしてください。



Start Innovation from KOBE

魅力ある神戸を
新たなビジネス拠点に

世界から注目される、洗練された国際都市・神戸市ではIT関連など様々な企業の誘致に取り組んでいます。この地で新しいイノベーションに取り組むIT企業のひとつ、株式会社OPTiMの野々村耕一郎氏に神戸でビジネス展開する利点と今後の展望について伺いました。

IoTビジネスを産業化
神戸が持つ未来への可能性とは

—— 本日はよろしくお願ひします。御社は昨年11月、神戸に新たな拠点を開設されました。まずはそちらの事業内容について教えてください。

野々村：私達OPTiMが現在注力しているのは、AI・IoTプラットフォーム事業です。各産業とテクノロジーとを組み合わせることで、第四次産業革命型産業を再構築する取り組みを行っています。日本のすべての産業課題は人口減少とそれに伴う労働人口の減少。これをAIの力で解決したいと考えています。

—— 神戸での開設に至ったのはどういった経緯からでしょうか。

野々村：創業メンバーの3名が神戸生まれで神戸の中学・高校の同級生なんです。学生の時にベンチャービジネスを開始し、今年でちょうど創業20年という節目を迎えます。現在各産業とIoTを融合させた「〇xIT」というビジネスモデルを推進しており、その中の大きなカテゴリーとして「医療」があります。医療業界は超高齢化社会を迎え、人不足の深刻化も相まって、業界のあらゆる場面でテクノロジーによる補完が必要になっていきます。神戸は阪神・淡路大震災から25年が経過し、産業構造が大きく変化しました。今では神戸医療産業都市として大きな発展を遂げ、医療に関する多くのスタートアップ



—— 実際に神戸に拠点を開設されて、感じたメリットは何でしょうか。

野々村：本社がある東京へのアクセスが非常にいいですし、大阪、京都など関西にも多くのお客様がいらっしゃる中で、神戸に拠点を置くことは大変利便性が高いと感じています。また、街自体が非常にコンパクトなので家から職場まで近く、ストレスを感じることはありません。交通の便の良さはプライベートでも便利です。海や山など自然が多いのも素